



# Kyoto Seika University Graduate School

ART / MANGA / DESIGN / HUMANITIES

## 京都精華大学 大学院

芸術研究科	博士前期課程・博士後期課程
マンガ研究科	博士前期課程・博士後期課程
デザイン研究科	修士課程
人文学研究科	修士課程



# ボーダレスなフィールドと実践的なアプローチで、 世界に通用する表現者・研究者を育成

京都精華大学は、人間を尊重し、人間を大切にすることを教育の基本とし、  
学問・芸術によって人類社会に尽くそうとする自立した人間を育てる大学をめざして、  
1968年に誕生しました。

京都精華大学大学院は、学部における専門的教養の学びをさらに深化させ、  
表現・文化の進展を牽引する場として、  
特色ある環境と実践的なプログラムによる教育を行っています。

## POINT 1

**芸術、マンガ、デザイン、人文学の  
4研究科を横断する「共通基盤科目」を設置。**

京都精華大学大学院は芸術研究科、マンガ研究科、  
デザイン研究科、人文学研究科の4つの研究科で構  
成されています。

その大きな特徴は、研究科や領域、作家や研究者の  
垣根を越えて、立場の異なる者同士が交流しながら  
学べる環境にあります。表現の根本思想や哲学、社  
会に展開するプロジェクトの実践など、どのような  
分野においても応用できる、制作・研究を支える基  
盤を養うことができます。

## POINT 2

**制作者と研究者が共に刺激しあう環境。**

作品を制作する学生と、理論を研究する学生が隣り  
合って学ぶのも本学の特徴のひとつ。お互いの方法  
論や作品の意図、その背景を知ることで、創作や分  
析の幅と奥行きが増していきます。また、制作系、  
理論系の教員が合同で指導する体制を取り、技術と  
理論の両面からサポートを行います。

## POINT 3

**第一線で活躍するプロに直接指導を受け、  
専門性を追究する。**

美術作家、キュレーター、デザイナー、建築家、マ  
ンガ家、研究者など、第一線で活躍する教員が講義、  
実習、プロジェクトを担当します。アート、デザイン、  
マンガ、文学など、さまざまな表現分野をリードす  
るプロである教員から直接指導を受け、自らの表現  
や研究を深めていきます。

## POINT 4

**国際的な学びの土壌で  
グローバルな視点を獲得。**

学生のうち、約8割が留学生。出身地は、中国、韓国、  
台湾などの近隣諸国はもちろん、欧米諸国や南米な  
どさまざま。多様な国や地域から学生たちが集い、  
異なる視点を交換しあえる、国際色豊かな研究環境  
が整っています。また、海外の学会や展覧会で発表  
する機会も豊富です。

## POINT 5

**国際都市・京都で学ぶ伝統と革新。**

京都という立地を活かし、歴史や伝統に革新性を取  
り込んだアートやデザイン、京都の環境施策や社会  
基盤整備の先進的な取り組みなどを学べるのも、本  
学の特色。また、京都市と京都国際マンガミュージ  
アムを共同運営しており、京都は日本のマンガの研  
究拠点としても注目されています。

# 研究科構成

芸術、マンガ、デザイン、人文学の4つの研究科で、学識と技術を深め、高い専門性と柔軟な感性を持ち、表現で世界を変える人を育てます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 芸術研究科 博士前期課程(修士課程) 博士後期課程(博士課程)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マンガ研究科 博士前期課程(修士課程) 博士後期課程(博士課程)</li> </ul>	<b>沿革</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1991年 京都精華大学大学院美術研究科開設(造形専攻・デザイン専攻)</li> <li>1993年 大学院人文学研究科を開設</li> <li>2000年 大学院美術研究科を芸術研究科に名称変更</li> <li>2003年 大学院芸術研究科に博士後期課程を開設</li> <li>2010年 大学院芸術研究科を再編。デザイン研究科(デザイン専攻修士課程・建築専攻修士課程)およびマンガ研究科(マンガ専攻修士課程)を開設</li> <li>2012年 大学院マンガ研究科に博士後期課程を開設</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● デザイン研究科 修士課程 デザイン専攻・建築専攻</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人文学研究科 修士課程</li> </ul>	

# アドミッションポリシー

研究科では次のような人物を求め、広く国内外から受け入れます。

リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、本学が掲げる3つの方針に賛同する学生を求めています。

芸術研究科	博士前期課程	<p>研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。</p> <p><b>知識と理解</b>：芸術における過去の研究制作の成果について知識と理解を有する者。  <b>創造的思考と考察</b>：探求すべき目標を明確に定め、芸術の制作ないしは研究を通じて新しい価値を創出しようとする者。  <b>技術と表現</b>：主体的に研究制作能力をさらに向上させ、専門分野でそれをさらに応用・展開しようとする者。  <b>視点と協働</b>：他者の意見を聞き入れつつ、共同してひとつのプロジェクトに打ち込むことができる者。  <b>社会への関心と行動</b>：現代社会が抱える問題を把握し、倫理観をもって自らの知識や技術を発信しようとする者。</p>
	博士後期課程	<p>入試に先立って事前に指導を希望する教員との面談の機会を設けることで、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性について、一定の合意を得ることを前提としたうえで、以下の5つの指標に基づいて入学試験にて可否を判定します。</p> <p><b>知識と理解</b>：芸術ないしはデザインにまつわる領域に強い関心をもち、かつそれらの既往研究の成果について高い水準の知識と理解を有する者。  <b>創造的思考と考察</b>：博士論文で探求すべき目標を明確に定め、それを継続的に深く考察することで新しい価値を創出できる者。  <b>技術と表現</b>：自ら集めた資料に即して知見をまとめ、論理的な文章にすることができる者。  <b>視点と協働</b>：他者を受け入れ、その意見を聞き入れつつ、自律的に研究活動を進めることができる者。  <b>社会への関心と行動</b>：倫理観をもって学会や研究会などに参加し、研究成果を正しく発信できる者。</p>
マンガ研究科	博士前期課程	<p>研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。</p> <p><b>知識と理解</b>：マンガやアニメーションにおける過去の研究制作の成果について知識と理解を有する者。  <b>創造的思考と考察</b>：探求すべき目標を明確に定め、マンガやアニメーションの制作ないしは研究を通じて新しい価値を創出しようとする者。  <b>技術と表現</b>：主体的に研究制作能力をさらに向上させ、専門分野でそれをさらに応用・展開しようとする者。  <b>視点と協働</b>：他者の意見を聞き入れつつ、共同してひとつのプロジェクトに打ち込むことができる者。  <b>社会への関心と行動</b>：現代社会が抱える問題を把握し、倫理観をもって自らの知識や技術を発信しようとする者。</p>
	博士後期課程	<p>入試に先立って事前に指導を希望する教員との面談の機会を設けることで、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性について、一定の合意を得ることを前提としたうえで、以下の5つの指標に基づいて入学試験にて可否を判定します。</p> <p><b>知識と理解</b>：マンガ・アニメーションにまつわる領域に強い関心をもち、かつそれらの既往研究の成果について高い水準の知識と理解を有する者。  <b>創造的思考と考察</b>：博士論文で探求すべき目標を明確に定め、それを継続的に深く考察することで新しい価値を創出できる者。  <b>技術と表現</b>：自ら集めた資料に即して知見をまとめ、論理的に説明し、表現することができる者。  <b>視点と協働</b>：他者を受け入れ、その意見を聞き入れつつ、自律的に研究活動を進めることができる者。  <b>社会への関心と行動</b>：倫理観をもって学会や研究会などに参加し、研究成果を正しく発信できる者。</p>
デザイン研究科	修士課程	<p>研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。</p> <p><b>知識と理解</b>：専門分野における過去の研究制作の成果について知識と理解を有する者。  <b>創造的思考と考察</b>：探求すべき目標を明確に定め、新しい価値を創出しようとする者。  <b>技術と表現</b>：主体的に研究制作能力をさらに向上させ、専門分野において応用・展開しようとする者。  <b>視点と協働</b>：他者の意見を聞き入れつつ、共同してひとつのプロジェクトに打ち込むことができる者。  <b>社会への関心と行動</b>：現代社会が抱える問題を把握し、倫理観をもって自らの知識や技術を発信できる者。</p>
人文学研究科	修士課程	<p>研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。</p> <p><b>知識と理解</b>：専門分野における過去の研究成果と現在の状況について知識と理解を有し、またその更新に努める者。  <b>創造的思考と考察</b>：探求すべき目標を明確に定め、その探求によって新しい価値を見出し表明しようとする者。  <b>技術と表現</b>：主体的に研究能力をさらに向上させ、専門分野において発揮しようとする者。  <b>視点と協働</b>：他者の意見・考えを聞き入れつつ多角的な視点を自らの中に取り込み、相互に協調し合いながらプロジェクトに打ち込むことができる者。  <b>社会への関心と行動</b>：現代社会が抱える問題を把握し、それを専門分野の中に適切に位置づけ、倫理観をもって自らの知識や技術を活用しようとする者。</p>

## 博士前期課程

実技／理論

【領域】 洋画、日本画、立体造形、陶芸、染織、版画、映像、芸術理論

芸術の本質に迫る、  
真に創造的な人を育てる。

芸術研究科博士前期課程は、学士課程の教育をさらに発展させる、体系的で充実したカリキュラムを準備しています。プレゼンテーションや展示手法などの実践的方法、芸術理論、美術史、現代アートに関する高度な専門知識、複数教員による各領域での技法探求を通じて、個々の独創的な創作・研究活動をサポートします。

### PICK UP 全国トップレベルの制作・研究環境

全国の芸術系大学のなかでもトップレベルの充実した設備と広い制作空間を誇り、現役作家でもある指導教員が徹底した個人指導を行います。制作に打ち込める環境とプロの厳しい批評眼によって、創造性と普遍性を備えた高いレベルの表現を育てます。理論系は、制作現場のすぐ近くで実践的に研究を深めます。

### 【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
洋画	小松 敏宏 KOMATSU Toshihiro	絵画／空間芸術	○
	安喜 万佐子 YASUKI Masako	絵画／現代美術	
日本画	雲丹亀 利彦 UNIGAME Toshihiko	日本画	
	中野 裕介 NAKANO Yusuke	描画-テキスト-空間表現／現代美術	
立体造形	吉野 央子 YOSHINO Ohji	立体造形／彫刻	
陶芸	中村 裕太 NAKAMURA Yuta	現代美術／工芸文化論	
	宮永 甲太郎 MIYANAGA Koutarou	美術	
染織	鳥羽 美花 TOBA Mika	染色	
	中川 裕孝 NAKAGAWA Hirotaka	テキスタイル／美術	
版画	北野 裕之 KITANO Hiroyuki	写真／版画	
	芳木 麻里絵 YOSHIKI Marie	版画／現代美術	
映像	西 光一 NISHI Koichi	メディアアート	○
	平野 砂峰旅 HIRANO Saburo	コンピュータ音楽／メディアアート／サウンドスケープ	
	宮永 亮 MIYANAGA Akira	映像表現	
芸術理論	井岡 詩子 IOKA Utako	美学／芸術論／表象文化論	
	鯖江 秀樹 SABAE Hideki	美術史／表象文化論	
	吉岡 恵美子 YOSHIOKA Emiko	現代美術／キュレーション	

### 研究テーマ例

- ナタリー・ユールベリ&ハンス・ベリによるストップモーション・アニメーション作品の考察 —シュルレアリスムとの関係を中心に
- 染色における光の形の変化

### 修了要件

【博士前期課程】 30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

【博士後期課程】 14単位以上修得し、尚且つ博士論文および博士作品を提出し、審査および試験に合格すること

### 博士前期課程 科目例

【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】 芸術理論特講、表現領域特講

【専門研究科目】 芸術研究

## 博士後期課程

実技／理論

自分だけの作品・研究をより深く突き詰める。

芸術研究科博士後期課程では、修士課程の教育をさらに発展させ、博士号の取得をめざします。主査1名、副査2名、計3名以上の複数教員によって、個別具体的な指導を実施します。さらに、研究テーマの隣接分野への理解を深めながら、研究計画、調査手法、文章作成、作品制作をより専門的に学修していきます。博士論文の作成と作品制作は段階的に進められます。1年次には「公開報告会」で1年間の研究成果を公にし、新たに探究するべき課題を見つけます。3年次後期には、「学位審査予備審査会」で学位請求論文を執筆するに足る学術的素養と作品について審査を受けます。最終的には、「学位審査会」で主査1名、副査2名以上の教員による厳正な評価のもと、提出論文および博士作品の可否について判定が下されます。

### 【教員一覧】

教員名	専門分野	英語指導
井岡 詩子 IOKA Utako	美学／芸術論／表象文化論	
北野 裕之 KITANO Hiroyuki	写真／版画	
小松 敏宏 KOMATSU Toshihiro	絵画／空間芸術	○
鯖江 秀樹 SABAE Hideki	美術史／表象文化論	
中野 裕介 NAKANO Yusuke	現代美術／空間表現	
中村 裕太 NAKAMURA Yuta	現代美術／工芸文化論	
平野 砂峰旅 HIRANO Saburo	コンピュータ音楽／メディアアート／サウンドスケープ	
前田 茂 MAEDA Shigeru	美学／映画芸術論	
宮永 甲太郎 MIYANAGA Koutarou	美術	
安田 昌弘 YASUDA Masahiro	ポピュラー音楽研究／文化社会学	
吉野 央子 YOSHINO Ohji	立体造形／彫刻	

### 研究テーマ例

- 武井武雄の創作活動 — 版画・刊本作品・童画
- EDO YŌKAI KARUTA AND JAPANESE FOLK SPIRITUAL BELIEFS & PRACTICE
- 造形のレアリテ — 海老原喜之助の戦後絵画
- The event that marked Kojin Toneyama : The Sakuma Dam and his encounter with Mexican art and culture.
- 見るための絵本 — 赤羽末吉の絵とそのコンポジション



# マンガ研究科

博士前期課程・博士後期課程

## 博士前期課程

実技／理論

【領域】 マンガ実技、マンガ理論 ※アニメーション実技の領域はありません

世界屈指のマンガ研究機関で  
最先端の研究を国内外に発信する。

2006年に日本初のマンガ学部を、さらに2010年には日本初のマンガ研究科を開設するなど、京都精華大学は常にマンガ教育・研究のトップランナーとして走りつづけています。マンガを単なる資料として扱うのではなく、その表現の本質を明らかにしていくことで「マンガとは何か」を追究している世界屈指の研究機関です。

**PICK UP** マンガの専門機関と連携し、  
深く幅広い研究が可能

本学の研究機関「国際マンガ研究センター」では、国内外のネットワークを構築しながら、マンガやその原画などのアーカイブを行い、研究を進めています。そのような専門の研究機関や、京都市と共同運営している「京都国際マンガミュージアム」との連携により、マンガ表現のさらなる進化と、マンガ研究の国内外への発信をめざしています。

### 【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
マンガ実技	大谷 じろう OHTANI Jiro	マンガ	
	小田 隆 ODA Takashi	絵画／イラストレーション／美術解剖学	
	具 本媛 KOO BON WON	ストーリーマンガ／マンガ表現論	○
	武富 健治 TAKETOMI Kenji	創作ストーリーマンガ／コミカライズ	
	辻田 幸広 TSUJITA Yukihiko	アニメーション制作理論／インタラクション	○
マンガ理論	姜 竣 KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子 KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	松下 哲也 MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	

### 研究テーマ例

- 日中コンテンツ産業をめぐる著作権問題の考察 —マンガにおける著作権保護を中心に—
- エッセイマンガの多様性と可能性 —「描く」という行為とメディア論を手掛かりに—
- 日本の原作マンガから中国の実写映画へ —『賭博黙示録カイジ』から『動物世界 Animal World』の比例として—
- 面を被ることで幽玄の世界を出入りする、ステルスアクションゲームのコンセプト及び、イメージボード作成
- 『美術手帖』から紐解く戦後漫画と美術界
- 視覚障害者に向けたマンガの提供フローの構築に関する研究 —ステークホルダーへのインタビューを手がかりに—

### 修了要件

【博士前期課程】 30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

【博士後期課程】 14単位以上修得し、尚且つ博士論文を提出し、審査および試験に合格すること

### 科目例

【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】 マンガ理論特講、マンガ領域特講

【専門研究科目】 マンガ研究

## 博士後期課程

実技／理論

【領域】マンガ

国内外でマンガ研究をリードし、  
新たな可能性を拓く人を育てる。

マンガ／コミック文化についての研究や海外文献講読などにより、国際的に活動できる高度な専門能力を身につけ、国内外の学会会議や報告会で研究成果を発表します。いま、世界のマンガ評論や研究の場では、国際的にマンガ研究のレベルを向上させることが日本に求められています。マンガ研究科博士後期課程では、そのために必要となる、より深い知識とプレゼンテーション能力を着実に磨いていきます。博士前期課程同様、国際マンガ研究センターなどの研究拠点を活用し、マンガ研究の新たな学問分野を築く人の育成をめざします。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
マンガ	姜 竣 KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子 KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	辻田 幸広 TSUJITA Yukihiko	アニメーション制作理論／インタラクション	○
	松下 哲也 MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
	吉村 和真 YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

研究テーマ例

- マンガ的コミックの「マレーシアらしさ」—文化的アイデンティティとコミック表現をめぐる—
- アダプテーションとしてのメディアミックス —前田真宏の『巖窟王』を例に—
- オタク化するギーク、ギーク化するオタク  
—ハンガリーのプロデューサーから見たアニメ・マンガ文化の国際的普及およびサブカルチャー的クラスタの役割—
- 1960年代の少女マンガの〈忘却〉と〈発見〉  
—週刊マーガレット誌の調査にもとづくメディアの物質性の研究 (1963-1970) —



# デザイン研究科

修士課程

## 修士課程

実技／理論

【領域】 ビジュアルデザイン、プロダクトデザイン、デザイン理論、建築

最先端を理解し、対応できる  
プロフェッショナルを養成。

デザイン専攻と建築専攻からなるデザイン研究科は、文化や社会に深い造詣をもったデザイナー、建築家、デザイン理論研究者を育成します。社会や産業の現場と交流しながら実践的に学べるプログラムを豊富に用意しており、メディアやツールの進化にも柔軟に対応し、新しい提案を行えるプロフェッショナルを養成します。

### PICK UP 産学連携を重視した実践的な研究

デザイン研究科のプログラムは、社会や産業の現場と交流しながら、実践を通して展開する取り組みが豊富です。新素材を扱うメーカーへの商品提案、和紙や瓦、組み木といった伝統工芸・地場産業とのコラボレーション、教員が実際に手がける建築物や都市空間の設計アシスタントなど、プロの仕事に学び参画する経験を通じて、発想力や企画力を鍛え、デザインに結実させていく技術と表現力を身につけます。

### 【教員一覧】

	領域	教員名	専門分野	英語指導
デザイン専攻	ビジュアルデザイン	北村 ケンジ KITAMURA Kenji	イラストレーション	
		高橋 亨 TAKAHASHI Toru	グラフィックデザイン	
		中村 光宏 NAKAMURA Mitsuhiro	アートディレクション／グラフィックデザイン	
		森原 規行 MORIHARA Noriyuki	コミュニケーションデザイン	
	プロダクトデザイン	大迫 克全 OOSAKO Katsumasa	インテリアデザイン／プロダクトデザイン	
		小北 光浩 KOKITA Mitsuhiro	ファッションデザイン	○
		米本 昌史 YONEMOTO Masashi	インテリアプロダクトデザイン	
デザイン理論	蘆田 裕史 ASHIDA Hiroshi	ファッション論／ファッション史		
	谷本 尚子 TANIMOTO Naoko	デザイン史／デザイン論		

	領域	教員名	専門分野	英語指導
建築専攻	建築	河井 敏明 KAWAI Toshiaki	建築設計	○
		川上 聡 KAWAKAMI Satoshi	建築設計	○
		岸川 謙介 KISHIKAWA Kensuke	建築設計	○
		高松 樹 TAKAMATSU Itsuki	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン	○
		葉山 勉 HAYAMA Tsutomu	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン／まちづくりコーディネート	○

### 研究 テーマ例

- 伝統と芸術の融合・最新の加工技術を使ったスチールバイクの研究
- 伝統文化を未来に残していくためにデザインでできること  
—「郷土玩具」をモチーフに—
- 次世代の都市型立体農場 —都市空間における新たな建築類型の研究—
- ミャンマーにおける仏教僧院の保存と再生
- 中国古書よりデザインするタイポグラフィの可能性
- 夫婦が協力する育児向けのサポートアプリ
- セカンドキャリアを考える  
滞在型観光から繋がる移住プランの考案
- 空間の静謐性と生命力に関する研究
- Light, Philosophy and Storytelling,  
The Fundamental Elements for Architectural Planning and Design and Design of Religious Buildings
- 自然資源を利用した省エネルギー集合住宅に関する研究

### 修了要件

30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

### 科目例

- 【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読
- 【専門特講科目】 デザイン理論特講、創造領域特講
- 【専門研究科目】 デザイン研究、建築研究、建築設計特講、先端建築技術特講、建築家倫理特講、建築構造演習、建築設備演習、建築設計監理演習

建築専攻修士課程では指定科目の修得および修了することで、一級建築士受験資格の実務経験要件とみなされます。



# 人文学研究科

修士課程

## 修士課程

【領域】人文学

柔軟な視野で、人間と社会と文化の過去・現在・未来を真摯に探求する。

人間と社会と文化をめぐるあらゆる事柄を研究対象とし、固着した学問領域の枠にとらわれず、普遍的・横断的なアプローチで独自のテーマを追究します。歴史、人、作品（文学、映画、マンガ等）、理論、思潮、実践、コミュニティ、地域、都市、国際、環境、制度など、多様な切り口からテーマを深め、その思考と行動の所産を社会に提言していきます。既成の枠組みにとられないために、軸足を置く専門領域は違えど教員や学生が共に人文学的態度を志向します。また、互いの研究内容についてフラットな立場で真摯に対話を行うアカデミックな場を設けています。人間の過去・現在・未来を自由に探究できる環境で、私たちの前に立ちのぼってくる問いを論理的に掘り下げ、主張するに足る一つの結論へと到達できる総合的な人文知を育みます。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
人文学	是澤 範三 KORESAWA Norimitsu	文学／日本上代文学／日本語研究	
	申 昌浩 SIN Chang-Ho	宗教社会学／大衆文化論／風俗史	
	鈴木 起生 SUZUKI Takeo	社会学／社会理論／多文化研究	○
	住友 剛 SUMITOMO Tsuyoshi	教育学／学校教育論／子ども支援研究	
	高橋 伸一 TAKAHASHI Shinichi	比較文学／詩学／ヨーロッパ基層文化論	
	田村 有香 TAMURA Yuka	地域社会学／生活環境論／社会調査研究	
	藤枝 絢子 FUJIEDA Ayako	地域学／国際協力論／風土建築研究	○
	堀井 佳代子 HORII Kayoko	歴史学／日本古代史／対外関係論	
	前田 茂 MAEDA Shigeru	美学／映画藝術論／モダニズム研究	
	山田 創平 YAMADA Sohei	社会学／都市社会論／地域研究	
	ユー スギョン YOO Sookyung	マンガ研究／マンガ表現論／グローバル文化論	○
	吉永 隆記 YOSHINAGA Takanori	歴史学／日本中世史／荘園論	

### 研究 テーマ例

- 『族長の秋』における「カーニバル」と「グロテスク・リアリズム」—バフチン概念の援用としての試論的考察—
- 日本のマスメディアにおけるヴェルサーチの表象—バブル文化の文化史的考察から—
- スカート、ヒール、はだけた胸—ヴィジュアル系の中のジェンダー表現—
- 日本における動物保護行政の成立—犬猫の管理に関する法制史から—
- 大津絵の研究
- 20世紀前半期における幼稚園保育のなかの〈性〉
- 批評と哀悼—小林秀雄における詩的言語の生成過程—
- 日本的キャラクターの成立—キティ・ホワイトからみる補完されるキャラクター—
- 中国現代詩人 張頌の詩論について—元詩と現代性という詩的概念を中心に—
- 華北交通史—日中戦争期中国での日本式鉄道経営—
- 茶道と儒教思想—茶湯から茶道へ—

過去、本研究科の修士生が上記の研究テーマによって、東京大学、総合研究大学院大学、大阪公立大学、立命館大学などの博士後期課程や海外の大学（韓国の大邱大学など）に数多く進学しています。

### 修了要件

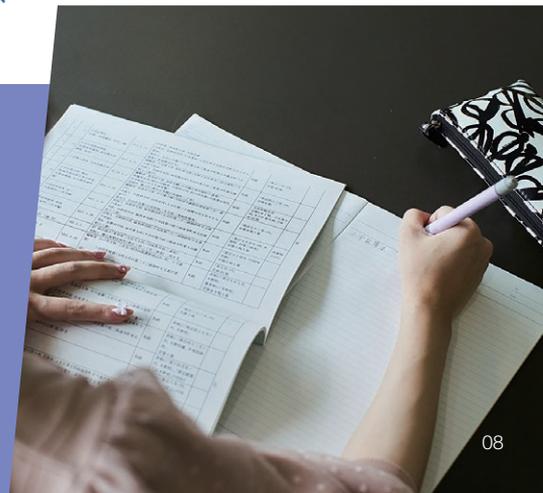
30単位以上修得および修士論文を提出し、審査に合格すること

### 科目例

【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】 表現領域特講

【専門研究科目】 人文学特殊講義、人文学合同演習、人文学基礎演習、人文学演習



# 入学選考

## [ 募集人員 ]

	課 程	専 攻	募 集 人 員
芸術研究科	博士前期課程	芸 術	20名
	博士後期課程	芸 術	5名
マンガ研究科	博士前期課程	マンガ	20名
	博士後期課程	マンガ	4名
デザイン研究科	修士課程	デザイン	10名
		建 築	5名
人文学研究科	修士課程	人文学	10名

## [ 入試日程 ]

	博士前期課程・修士課程 1期	博士前期課程・修士課程 2期		博士後期課程
一次審査 出願期間	2025年 8月27日(水)～9月3日(水)	2025年 12月8日(月)～12月15日(月)	出願期間	2025年 10月20日(月)～10月28日(火)
一次審査 合否発表日	2025年9月26日(金)	2026年1月19日(月)	試験日	2025年11月23日(日)
二次審査 出願期間	2025年 9月26日(金)～10月6日(月)	2026年 1月19日(月)～1月26日(月)	合否発表日	2025年12月1日(月)
二次審査 試験日	2025年10月26日(日)	2026年2月21日(土)		
合否発表日	2025年11月1日(土)	2026年2月26日(木)		

## 大学院入試 よくある質問

**Q** 志望する研究科と異なる専門の学部を卒業しました。出願できますか？

**A** 出願できます。ただし、その領域について学部卒業程度の知識やスキルがあることが求められます。

● 芸術・デザイン・マンガ研究科の理論系、人文研究科 …… 大学院の専門分野に関連する卒業論文がない場合は、「卒業論文に代わるもの」として12,000字以上（英語の場合は7000words以上）の卒業論文に相当するレポートを提出してください。

● 芸術・デザイン・マンガ研究科の実技系 …… 選考過程において適正を判断します。ポートフォリオに今まで手がけた作品やアイデア等をまとめてください。

**Q** 指導を希望する教授と事前に連絡をとる必要がありますか？

**A** 課程により異なります。

● 博士前期課程：不要です …… 事前に連絡をとる必要はありません。指導教員は入学後に決まります。本学の教員の研究内容については、教員一覧をご参照ください。

● 博士後期課程：必要です …… 必ず事前面談を行ってください。「博士後期課程事前面談書」に承諾のサインをもらい、出願時に提出してください。教員の連絡先は、入学グループまでお問い合わせください。  
入学グループ：nyushi@kyoto-seika.ac.jp

**Q** 大学院に入る前の研究生制度や、留学生別科はありますか？

**A** 研究生は募集していません。また留学生別科はありません。

**Q** 外国人も受験できますか？

**A** はい。外国の方も歓迎です。ただし2期の試験は、国内在住の方のみ受験可となります。また、日本語能力等の出願資格が設けられています。詳しくは6月に発行する「入試要項」をご確認ください。

**Q** 過去問題を見ることが出来ますか？

**A** 大学ウェブサイトで過去3年分の問題をご覧いただけます。



# 授業料

## [ 博士前期課程 / 修士課程 ]

	年 間	1 回あたりの納入金※
芸術研究科(実技系) デザイン研究科(実技系) マンガ研究科(実技系)	1,050,000円	262,500円
芸術研究科(理論系) デザイン研究科(理論系) マンガ研究科(理論系) 人文学研究科	750,000円	187,500円

※授業料は年4回(4月、7月、10月、1月)に分けて納入します

## [ 博士後期課程 ]

	年 間	1 回あたりの納入金※
芸術研究科	1,050,000円	262,500円
マンガ研究科	750,000円	187,500円

※授業料は年4回(4月、7月、10月、1月)に分けて納入します

# 入学手続き時納入金

入学手続きは、期日までに「入学手続き時納入金」を納入することで完了します。  
期日までに入金されない場合、入学することはできません。

## 入学手続き時納入金の内訳

- 入学金：200,000円 ※本学卒業生・修了生は免除されます
- 年間授業料の1/4相当額(上表「1回あたりの納入金」)
- 留学生対象学研災付帯学生生活総合保険(外国人留学生のみ)：  
博士前期課程・修士課程 … 7,340円(2年分)、博士後期課程 … 10,510円(3年分)

# 奨学金制度

以下の奨学金はすべて「給付型」の奨学金です(学費を減免して充当します)

**国内学生** 国内学生が対象  
**留学生** 留学生が対象

名 称	金 額	対 象 者	採用人数	選考時期
国内学生 大学院学費減免 <b>国内学生</b>	博士前期・修士課程： 年間授業料の1/2の額 博士後期課程： 年間授業料の3/4の額	本学が定める家計と成績要件を 満たす者 ※1年生は成績要件なし	博士前期・修士課程：4名 博士後期課程：3名	入学後
私費外国人留学生 大学院学費減免 <b>留学生</b>	博士前期・修士課程： 年間授業料の1/2の額 博士後期課程： 年間授業料の3/4の額	本学が定める家計と成績要件を 満たす者 ※1年生は成績要件なし	博士前期・修士課程：10名 博士後期課程：3名	入学後
海外プログラム 学修奨励奨学金 <b>国内学生</b> <b>留学生</b>	年間授業料の1/2の額	本学の海外協定校への交換留学へ 参加する学生のうち、 成績・語学要件を満たす者	20名	入学後

# ACCESS

京都精華大学は、京都の中心地から電車で20分ほどのアクセス便利なエリアにあります。  
通学途中には、文化施設や世界遺産などのカルチャースポットも数多くあります。



- 1 JR「京都」駅から 約30分** 京都市営地下鉄「国際会館」駅下車、3番出口より無料スクールバスで約10分
- 2 京阪電車「出町柳」駅から 約20分** 叡山電車に乗り換え「京都精華大前」駅下車すぐ

## 主要駅からのルート・所要時間案内

出発地	路線	乗り換え	所要時間	最終目的地
京都市内から	京都	地下鉄烏丸線	20分	国際会館
	二条	地下鉄東西線 → 地下鉄烏丸線	4分 + 14分	国際会館
	三条	京阪本線 特急 → 叡山電車鞍馬線	4分 + 17分	京都精華大前
大阪から	大阪	JR東海道本線 新快速 → 地下鉄烏丸線	29分 + 20分	国際会館
	大阪梅田	阪急 京都本線 特急 → 地下鉄烏丸線	40分 + 16分	国際会館
	淀屋橋	京阪本線 特急 → 叡山電車鞍馬線	54分 + 17分	京都精華大前
兵庫から	三ノ宮	JR東海道本線 新快速 → 地下鉄烏丸線	52分 + 20分	国際会館
滋賀から	大津	JR東海道本線 → 地下鉄烏丸線	9分 + 20分	国際会館
奈良から	近鉄奈良	近鉄 京都線 特急 → 地下鉄烏丸線	36分 + 20分	国際会館

※各駅よりスクールバスで約10分

## 京都精華大学

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137  
<https://www.kyoto-seika.ac.jp>



※デバイスによっては読み取れない場合があります。

## 大学案内・オープンキャンパスについて

### 広報グループ

TEL. 075-702-5197  
 E-mail. shingaku@kyoto-seika.ac.jp

## 入試・出願書類について

### 入学グループ

TEL. 075-702-5100  
 E-mail. nyushi@kyoto-seika.ac.jp

※掲載情報は2025年3月末時点のものです ※教員情報は2025年度在籍者です



## オンライン個別相談

大学院の出願資格や入学試験について直接相談できる、オンライン個別相談を受け付けています。  
ご自宅などから利用していただくことが可能です。

※相談には職員が対応します。教員と相談することはできません

